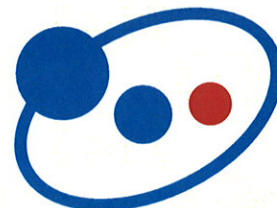


ヒューマンハーバー



Human Harbor

5・6月号 協同組合ハイコープ組合報
Vol.202 2012年(平成24年)5月18日(金)発行



◆4/18 経営トップ・幹部の研修旅行
「世界の京セラになるまで」
講師 元京セラ社長 安城 欽寿 先生



◆4/19 「松下経営塾・特別研修」
松下資料館前にて講師川越先生を囲んで

国家財政と消費税増税問題

荒れる2012年の世界経済。ここにきてスペインの、財政再建の頓挫から発した欧州危機、またギリシアの選挙による急進左派連合の人気の盛り上がりにより再選挙ということとなり情勢は混沌としています。それにイタリアもマイナス成長が続き財政危機が拡大してきました。5月に入ってからの一連の欧州のこの混乱は世界経済に即影響し、アメリカ、日本の為替、株式、商品市況は波乱状態となってきました。結局、日銀をはじめ世界中の中央銀行は更なるマネーの増刷を行うといわれています。

ところで日本の国家財政、1000兆円近い借金。民主党の藤井元財務相が、5月15日、仮に国会で消費税法案が通らなければ、国内の銀行からの国債の売却が始まり、金利急騰となるだろうと述べていましたが、これに対してある経済アナリストA氏は「これは消費税を通そうとする脅しではありません。実際いつ日本国債は売られてきてもおかしくないのです」。またB氏は「日本の国債は暴落する、だから消費税法案を早く通さなければとよくいわれるが、そんなことはない。国債も銀行が率先して売ることにはできない。日本の借金は他国と違い、国内から95%調達したもので金利も安定している。財務省関係の消費税法案を通すための脅しと思われても仕方ない」と述べています。2人の違う見解、日本経済と政治、中小企業経営、家計にとっても大変重要なことを含んでいます。

消費税増税については大いに疑問が残ります。引き続き情報収集し、次号で報告します。

CONTENTS

巻頭	1
本部事業報告「経営トップ・幹部の研修旅行を開催」	2
〈レポート〉京都研修に参加して	2
〈レポート〉経営トップの研修旅行に参加して	4
写真で綴る関連事業・スケジュール	6
PETIT情報・編集後記	6